



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

講義を英語で受講

SSH アメリカ2 研修旅行

アメリカ研修の2日目、生徒たちはワシントンD.C.にある『スミソニアン博物館』を訪れ、講義を受けた。参加した生徒から多くの感想が送られてきたので、新聞部はそれらを元にキマグレを制作した。



▶フィン博士の講義に耳を傾ける

生徒たちは7時30分に起床し、バイキング形式の朝食を摂った後、メトロに乗ってスミソニアンへ向かった。アメリカの電車は日本の電車よりもドアが容赦なく閉まるようで、中にはドアに挟ま

れてしまう人もいたという。スミソニアン博物館群に着いた一行は最初にアメリカ史博物館を訪れ、エジソンの研究をしていらつしやるフィン博士の講義を受講した。講義を聞いた生徒は「英語での講義だったので、内容を把握するのが大変だった」と感想を述べた。ところどころで通訳の方が訳されたということだが、生徒たちは積極的に博士の講義を聞き取ろうとしていたという。

講義の後は自由行動で、アメリカの自然史博物館や航空宇宙博物館に訪れ、生物や自然に関する様々な展示やライ



▲ときには考えることも大事

ト兄弟の展示などを見学した。その後は途中の駅で各自夕食を摂り、ホテルへと帰っていった。

引率された北村登志子先生は「みんなメモをとりながら熱心に聞き、いろいろ質問をしていたと思う。発明そのものだけでなく、その応用や社会への影響など広い視点からの説明で、とてもわかりやすかった。地下鉄はあまりの混雑で、乗り遅れた生徒もいたが、頑張る力で目的地にたどり着いた。良い勉強になった」と2日目の感想を話してくださった。

- ・朝食が more than we had expected な感じでした。もおいしくて、みんなたくさん食べた。
- ・普段、資料集の小さな写真でしか見ることでできない鉱石がたくさん展示してあり、どれもとてもビューティフルで目を奪われていました。(美しいと言えば、こちらでは美しい女性がたくさんいます。)
- ・ライト兄弟の展示を見ていたら航空力学に興味がありました。
- ・自分が調べたいと思っ

いたことについての展示がなく、他のテーマについて調べることにした。館内は広くて移動に時間がかかってしまい、思うように行動できなかったのが残念。

- ・食事や買い物をする時は、英語で話さないといけないので緊張するが、案内があるので僕達のレベルの英会話の力でも特に困ることない。でもやはり地元の人と話している北村先生や通訳の方を見ていると、自分も英語を話せるようになったらいいと思うようになった。

生徒の声